

2007年12月12日

香港現地法人「日本興亜アジア社」が米国格付機関A.M.Best社から 保険財務格付「A」を取得しました。

日本興亜損害保険株式会社（社長 兵頭 誠）では、日本興亜保険グループの香港現地法人である NIPPONKOA Insurance Company (Asia)Limited（社長 唐津 稔磨：以下「日本興亜アジア社」）が、米国の格付機関である A. M. Best 社（エー.エム.ベスト社）から、保険財務格付「A」・債券発行格付「a」（アウトルックはいずれも「安定的」）を本日（米国時間では12月11日）に取得いたしました。

保険財務格付「A」という高い格付を取得できたことは、香港における事業が順調に拡大し、健全な事業運営をしてきた結果であると認識しております。

◆「日本興亜アジア社」について

[1] 現地法人名	NIPPONKOA Insurance Company (Asia) Limited
[2] 設立	1991年2月
[3] 資本金	HK \$ 50,000,000.- (約 7.5 億円)
[4] 株主構成	日本興亜損害保険株式会社：90% MSTリスクコンサルティング株式会社：10%
[5] 会社規模	2006年度 元受保険料 HK\$119,075,118.- (約 17.9 億円) 2006年度 税引前利益 HK\$ 32,334,026.- (約 4.9 億円)

<A.M.Best 社からの評価ポイント>

- ・格付は、日本興亜損保にとって戦略的に重要な子会社であること、引受・再保険などの分野で日本興亜損保から支援を享受できること。
- ・事業の拡大と保守的な資産運用により、今後も安定した自己資本基盤の維持が期待できること。
- ・良好な顧客基盤に恵まれていること、また効率的なビジネスモデルにより、保険引受収支が良好であること。

ご参考：A.M.Best 社保険財務格付の定義

A++	Superior (極めて優れている)	C++	Marginal (最低限)
A+	Superior (極めて優れている)	C+	Marginal (最低限)
A	Excellent (優れている)	C	Weak (脆弱)
A-	Excellent (優れている)	C-	Weak (脆弱)
B++	Very Good (良好)	D	Poor (極めて脆弱)
B+	Very Good (良好)		
B	Fair (適当)		
B-	Fair (適当)		